

インフルエンザ予防接種の費用を助成します

／ 予防！インフルエンザ ／



和水町では集団感染や重症化を防ぐため、インフルエンザの予防接種料金の一部を助成します。

- ◆助成期間 10月1日（火）～令和2年1月31日（金）
- ◆接種方法 委託医療機関での接種は、役場での手続きは不要です。
委託医療機関については、町ホームページで確認いただくか、直接医療機関に確認してください。
委託医療機関以外での接種は、役場での手続きが必要です。
- ◆対象者・助成額など

	高 齢 者	子 ど も
対象者	・接種当日に65歳以上の人 ・接種当日に60歳以上65歳未満で内臓疾患の身体障害者手帳1級程度を有する人	・接種当日に生後6カ月以上18歳以下（高校3年生年齢相当）の人
接種回数	・1回	・生後6カ月以上13歳未満：2回（※1） ・13歳以上：1回
助成額	助成額4,200円（上限） 助成額上限を超えた分は、自己負担（※2）となります。	助成額3,000円／回（上限） 助成額上限を超えた分は、自己負担（※2）となります。
委託医療機関以外で接種する場合	・予防接種を受けるには町指定の予診票が必要です。 接種前に 、役場で予診票を受け取ってください。 ・医療機関に接種料金を一旦全額支払った後、役場で償還払い請求の手続きをしてください。 ○償還払い請求時に持ってくる物：予診票（原本）、接種済証、領収書、印鑑、通帳	・町内3医療機関（※3）以外で接種する場合、医療機関に接種料金を一旦全額支払った後、役場で償還払い請求の手続きをしてください。 ○償還払い請求時に持ってくる物：母子健康手帳、領収書、印鑑、通帳 ○2回接種を受ける人は、2回目接種後に申請手続きをしてください。
償還払期限	令和2年2月28日（金）	令和2年2月28日（金）

※1 13歳未満の人は、1回目を12月31日（火）までに接種し、2回目を令和2年1月31日（金）までに接種してください。
※2 接種料金が昨年より上がっていますので自己負担額にご注意ください。
※3 町内3医療機関…和水町立病院、和水クリニック、森の里クリニック 左記3医療機関で受ける場合、必ず印鑑をお持ちください。

問い合わせ先：本庁 健康福祉課 保健予防係 ☎0968・86・5724

自分自身やあなたの大切な人の命を守るために、日頃から「うつさない」、インフルエンザを「うつさない」体づくりに努めましょう。

「インフルエンザは予防接種を受けてもかかるもんね」「熱はあるけど休めないから仕事に行かなくちゃ」「子どもが学校でインフルエンザをもらってくると、どうせ家族にうつるもんね」

皆さん、こんなふうに思ったことはないでしょうか。インフルエンザは、子どもや高齢者、免疫力が低下している人に感染すると、合併症で重症化する可能性がある、油断できない怖い病気です。

しかし、予防接種を受けたら、栄養と睡眠をとり体の調子をを整えたりすることで、ある程度予防することができま

知っておこう インフルエンザのこと

Q.インフルエンザで症状が重くなりやすい人は？

- ・高齢者
- ・子ども
- ・妊婦
- ・慢性閉塞性肺疾患、喘息、糖尿病などの持病のある人
- 持病のある人は主治医に相談してください。

Q.インフルエンザがうつらないようにするためには？

- ・外出先から帰ってきたときは手洗いをします
- ・室内の適切な湿度(50～60%)を保ちます
- ・栄養と睡眠を十分にとり、体の抵抗力を高めます
- ・流行前に予防接種を受けます

Q.インフルエンザってそもそもどんな病気？

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することで起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れるのが特徴で、のどの痛み、せきなどの症状も見られます。

子ども、高齢者、免疫力が低下している人は、肺炎など重症になることがあります。

Q.ワクチンの効果ってあるの？

インフルエンザに感染すると数日の潜伏期間を得て発病します。多くの人は1週間程度で回復しますが、中には脳症や肺炎などの合併症が現れ、重症化する人もいます。

インフルエンザワクチンには、「発病」を抑える効果と、「重症化」を予防するという効果があります。

Q.インフルエンザにかかったとき、特に気をつけることは？

「他の人にうつさない」ことが大事です。同居する他の家族、特に重症になりやすい高齢者などにはなるべく接触しないよう心がけ、患者はできるだけ他の家族と離れて静養しましょう。

1時間に1回程度の部屋の換気、マスクの着用、せきエチケット、こまめな手洗いなどを心がけましょう。

Q.どんな症状が出たらどの医療機関に行けばいいの？

目安として、比較的急速に38℃以上の発熱があり、せきやのどの痛み、全身の倦怠感がある場合は早めに近くの内科、小児科を受診しましょう。

けいれん、呼吸困難、顔色が悪い、胸の痛み、嘔吐や下痢が続くなどの症状(重症化のサイン)がみられる場合は、すぐに受診してください。

Q.予防接種はいつ頃受けるのがいいの？

日本では、インフルエンザは例年12月～4月頃に流行し、例年1月末～3月上旬に流行のピークを迎えること、ワクチンが十分な効果を維持する期間が、接種後約2週間後から約5カ月とされていることから、10月から12月中旬までの間に予防接種を受けることが望ましいと考えられます。

Q.せきエチケットって？

- ①マスクを着けます（鼻からあごまでを覆い、隙間がないように着けましょう）
 - ②ティッシュなどで口と鼻を覆います（使ったティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう）
 - ③上着の内側や袖で覆います
- ※咳やくしゃみを手でおさえると、その手で触ったものにウイルスがつき、それを介して人にうつす可能性があります。

Q.インフルエンザにかかったらどのくらい外出を控えたらいいの？

インフルエンザ発症前日から発症後3～7日間は鼻やのどからウイルスを排出するといわれていますので、その間は外出を控える必要があります。

学校保健安全法では、「発症後5日を経過し、かつ解熱後2日（幼児は3日）を経過するまで」を出席停止期間としています。